

# 「娘が不治の難病と診断されました

～『レット症候群』をご存じですか～

第1回

10月15日(木)

認定NPO法人レット症候群支援機構 代表理事 たにおか てつじ 谷岡 哲次さん

# 「米軍人の父とウチナーンチュの母の子として生まれて ～人との出会いの中で沖縄と向き合えるように～」

第2回

10月29日(木)

東大阪市在住 おおや かずえ 大矢 和枝さん

令和2年度(2020年度)

～一人称で語る自分史～

# 生きること



# 「在日3世としてウトロに関わって

～そこから見えた人権と日本社会～」

第3回

11月5日(木)

南山城同胞生活相談センター代表 きむ すぶあん 金 秀煥さん

# 「人は人によって救われる

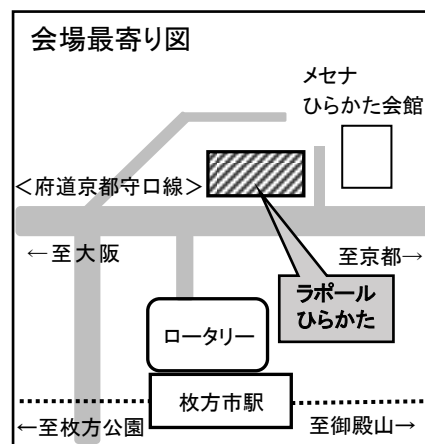
～25年間の震災ボランティア活動から～」

第4回

11月17日(火)

NPO法人 阪神淡路大震災よろず相談室 前理事長 まき しゅういち 牧 秀一さん

- 会場 ラポールひらかた4階 大研修室
- 時間 各講座 午後2時30分～4時30分
- 定員 各講座 先着72人
- 参加費 無料 ※1講座のみの参加もできます
- 参加申込 9月8日(火)から枚方人権まちづくり協会で、電話・FAX・メールで参加受付
- 必要事項 ①イベント名 ②講座名 ③名前(ふりがな) ④電話番号 ⑤保育(生後6か月～就学前児、各講座先着4人)、手話、要約筆記の有無  
※各講座の開催日の1週間前までに要申込
- 申込・問合せ先 特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会  
電話 072-844-8788 FAX 072-844-8799  
Email hirakatajinkenkyokai@wing.ocn.ne.jp



※ご参加の方は、新型コロナウイルス感染予防のため、会場内でのマスクの着用やソーシャルディスタンスの確保等について、ご理解とご協力をお願いいたします

主催 枚方市、枚方市教育委員会、特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会

令和2年度(2020年度) 講座 「生きること」 ～一人称で語る自分史～

講師からのメッセージ

第1回 10月15日(木)

「娘が不治の難病と診断されました～『レット症候群』をご存じですか」

認定NPO法人 レット症候群支援機構 代表理事 谷岡 哲次さん

「レット症候群」という女の子に発症する不治の難病を知っていますか？  
私は、我が子とその診断を受けた時、自分自身の無力さを知りました。  
何よりも大切な娘の「命」そして「人生」がこの先どうなるのか？  
親として子供のために出来る事は何かあるのか？  
私の選んだ道をご紹介致しますので「命」に向き合うきっかけになれば幸いです。

第2回 10月29日(木)

「米軍人の父とウチナンチュの母の子として生まれて  
～人との出会いの中で沖縄と向き合えるように」

東大阪市在住 大矢 和枝さん

戦後間もなく私は生まれました。父は米国人で、その頃、私のような立場の子どもたちはそれほど多くなく、理解、受け入れが容易ではない状況の中で育ちました。  
自信の持てない出自に悩み、ふるさとにも目をそむけていましたが、時を経て、今、ふるさと、そして後輩への素直な思いを語る事が出来るようになりました。

第3回 11月5日(木)

「在日3世としてウトロに関わって～そこから見えた人権と日本社会」

南山城同胞生活相談センター 代表 金 秀煥さん

在日コリアン3世として日本で育ち、コリアンコミュニティの中で「何不自由無く」育ててきたと思っていました。社会に出て様々な問題に触れることにより、「不自由が当たり前」になっていることに気づきました。強制立ち退きという大変な状況を乗り越えたウトロ地区で勤務する者として思うこととお話しします。

第4回 11月17日(火)

「人は人によって救われる～25年間の震災ボランティア活動から」

NPO法人 阪神淡路大震災よろず相談室 前理事長 牧 秀一さん

学生の頃、テニスばかりしていた思い出がある。おまけに定時制高校の存在すら知らずに神戸市の教師になる。  
このような私が、なぜ25年間震災被災者のもとに足しげく通うようになったのか。  
人は、その置かれた環境で、進む道を変えられるのだと今、つくづく思っている。そこらあたりを中心にみなさんと一緒に考えていきたい。

